

日時：平成20年12月1日（月）10:00～12:00

場所：日本学術会議6-A会議室（2）

出席者：江澤郁子委員、沖田富美子委員、春日文子委員、片山倫子委員（世話人）、渋川祥子委員、塚原典子委員、西島基弘委員（五十音順）

欠席者：白澤政和委員

事務局：渡邊（敬称略）

資料：添付資料（議事次第および分科会委員名簿、第20期における分科会活動の総括（報告）、財団法人こども未来財団‘こどもの栄養’H20.11.1発行月刊誌,p2~p9：提言 食生活の教育 一部抜粋

別紙資料（日本の展望委員会について、分科会別委員会における審議について、日本の展望委員会:生命科学作業分科会(第2回)議事要旨(案)

議事内容

1. 世話人の片山委員より第21期における生活科学分科会委員メンバー8名の報告ならびに本分科会の委員長、副委員長、および幹事2名選出の依頼がなされ、下記のとおり決定した。

委員長：片山倫子委員

副委員長：渋川祥子委員

幹事：沖田富美子委員、塚原典子委員

以上の決定を受け、引き続き片山委員長の司会により議事進行がなされた。

2. 今後の活動について（片山委員長）

- ・まず、片山委員長より第20期の報告として、第20期は15回議事録をもって終了したこと等の総括が述べられた。
- ・次いで、今後、第21期は何をなすべきか、また、生活科学系コンソーシアムとの関連・連携をどのように図っていくかについて、委員長、副委員長、幹事および江澤委員との協議の上で次回会議の際にたたき台を提案することで了解された。
- ・なお、渋川委員より、生活科学系コンソーシアム会長を片山委員長に交替していただきたい旨の提案がなされ、この点も含め今後検討していくこととなった。

3. その他

- ・日本の展望委員会について

日本の展望委員会が2009年4月に中間報告を出すにあたって、2月14日までに健康・生活科学委員会から学問上の展望および重要な課題について報告書を提出することになっている。下部機関である生活科学分科会としては、健康・生活科学委員会に対して、将来を見据えた学問上の展望および重要な課題を提案する必要があるのではないか？との発議が春日委員からあった。

これを受け、日本の展望委員会について事務局担当者からの説明があった。

本分科会としては、今後メール等で意見交換をし、親委員会に対して提出する報告書骨子を検討することとなった。

4. 次回会議日程について

1案：2009年2月27日（金）15:00～17:00

2案：2009年2月25日（水）10:00～12:00

上記日程で調整することに決定した。

以上